

日本警察官僚 総合名鑑

昭和23年(1948)～平成16年(2004)

小山 善一郎 石丸 陽 編 B5判、460頁、上製本、函入り
定価 18,000円+税 (送料実費)

- 国家地方警察本部（昭和23年設置）および警察庁（昭和29年設置）の職務に従事した警察官僚（キャリア組）1,200余名の入庁以後の全経歴を収録。
- 警察官僚（キャリア組）が歴任する警察庁の課長ポストや道府県警察本部長など200余の主要な官職の歴代在職者を収録。
- 日本近現代史、官僚制度の研究にとって必要不可欠な資料であり、また、政府機関、自治体、一般の民間企業などの事業展開や、マスメディア関係者の活動にも好個の資料。



はしがき (抄)

この『日本警察官僚総合名鑑』は、第二次世界大戦後の混乱期から立ち直り、かつて世界一安全な国とまでいわれた日本の、治安の維持の陣頭に立ってきた警察官僚の全名鑑である。日本占領の連合軍総司令部（GHQ）による、警察制度の改革を目指した内務省の解体後、昭和23年（1948年）に発足した国家地方警察本部、現行警察法のもと昭和29年（1954年）に発足した警察庁、のそれぞれの公職に在職したことのある警察の高級官僚、いわゆる有資格者（キャリア組）をすべて、収録してある。……戦後の警察に関係した警察官僚の全履歴を収録、公刊したのは国際化、情報化の波に翻弄されるこの混濁の世に、第二次世界大戦後から今日まで、日本の国家体制を支え、国民の安全な生活を守って日夜、奮闘してきた警察官僚の足跡を、あらためて顕彰しておく必要があるのではないか、と考えたからである。

